

道路が開く ～鳥取市の未来～

国土交通省中国地方整備局長・鳥取市長対談

高速道路は地域と地域、人と人を結びます。しかしながら、鳥取県は高速道路の整備率が全国で最も低く、県庁所在地である本市は高速道路ネットワークにつながっていません。

そうした中、いよいよ平成21年度には市民が長年待ち望んだ鳥取自動車道（鳥取県側）が開通します。未来を開く道路網の整備について、1月30日に国土交通省中国地方整備局長と鳥取市長が、道の駅清流茶屋かわはらで対談しました。



国土交通省中国地方整備局長（右）
 鳥取市長（左）
 司会：フリーアナウンサー 岡崎 典子さん（中）



道の駅清流茶屋かわはらの
鳥取自動車道の工事現場

司会 まずは、就任されたばかりの藤田局長に抱負をお願いします。

藤田中国地方整備局長 1月17日付けで中国地方整備局長を拝命しました。副局長として2年半お世話になってきましたが、引き続きよろしくお願います。

国土交通省では現在、国土形成計画や社会資本重点整備計画などの計画作りを行っています。

中国地方の特色は国際的に競争力のある産業がたくさんあること。特に山陽側は製造業、モノ作りが非常に元気です。この

活力を引き出して、中国地方全体にその経済効果を波及させるような施策に取り組んでいきたいと思っています。

今日、広島から鳥取まで来るのに4時間半かかり、非常に遠いなあと思いました。中国地方全体の高速交通体系を整備して、時間的により近くしていきたいと思っています。

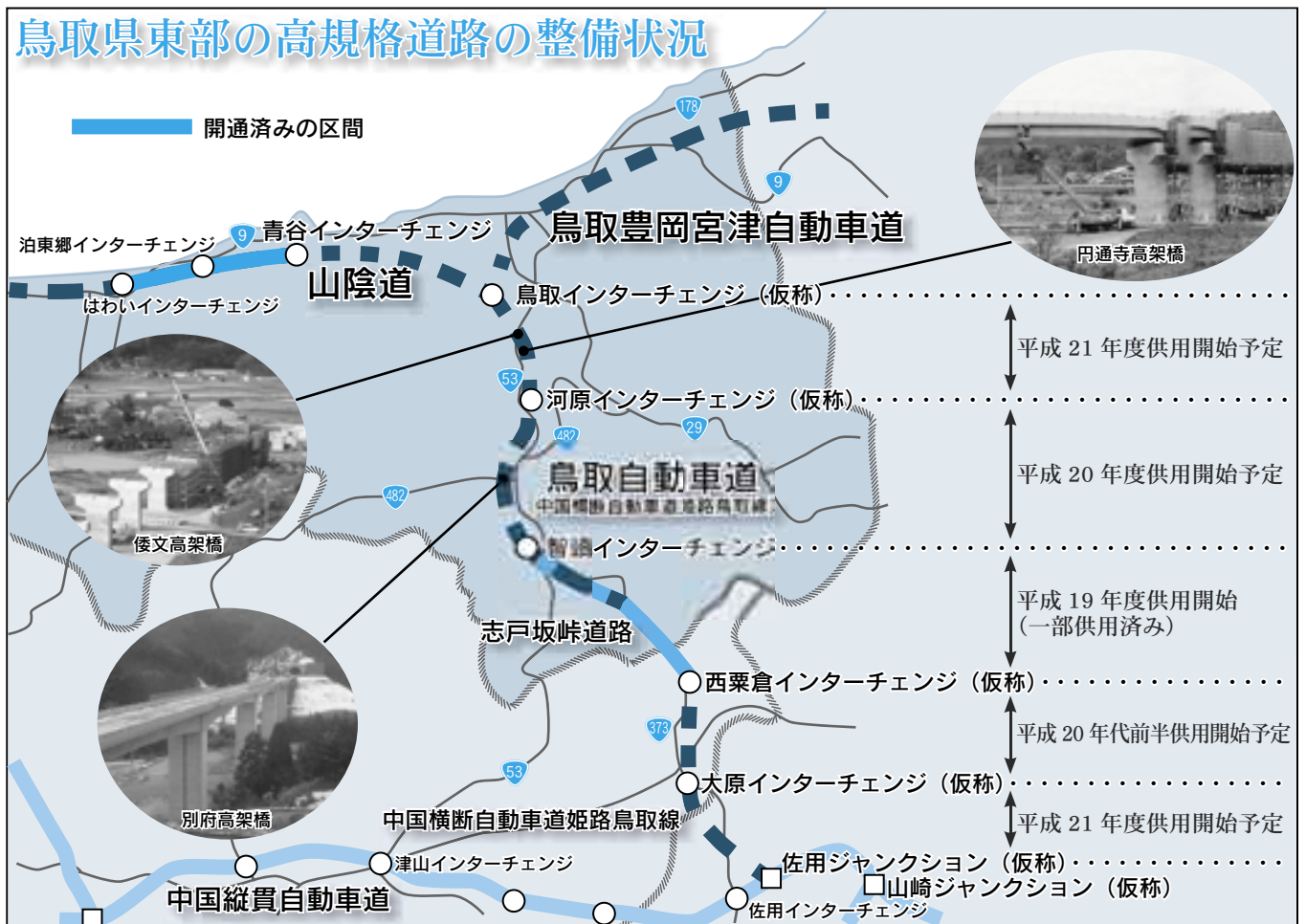
竹内鳥取市長 ご就任おめでとうございます。大いに期待しております。どうぞよろしくお願います。

高速道路と地域の活性化

司会 地域の発展には高速道路の整備が大きく影響していると思うのですが、鳥取市に関連する道路整備は今どのような状況になっていますか。

藤田局長 高規格の道路である鳥取自動車道と山陰道、この二つの道路の整備を懸命に進めているところなんです。特に鳥取自動車道については平成21年度末までに鳥取県内について全線開通をさせる予定です。さらに鳥取豊岡宮津自動車道についても、一所懸命取り組んでいきたいと思っています。

鳥取県東部の高規格道路の整備状況





国土交通省中国地方整備局長 藤田 武彦

司会 今後道路が整備されることによって、鳥取市の地域活性化はどう進んでいくとお考えですか。

竹内市長 まず地域経済を見えますと、鳥取自動車道の整備が進むことを受けて、平成18年度以降、企業誘致はすでに11社という成果が挙がっています。高速道路ができることを見越した企業立地が本市でも起こっています。引き続きこうした企業誘致や、地場産業の振興を図りたいと思います。企業の経済活動が活性化すれば、雇用が増えるという効果も生まれます。

また、高速道路ができることによって、大都市圏との時間短縮が図られますから、人の動きが活発になり、文化などの面でも地域の活性化が期待できます。

現在、この鳥取自動車道の開通を記念して行う「2009鳥取・因幡の祭典」の準備を進めています。この機会に改めて鳥取に来ていただき、鳥取・因幡の地の良さを体験していただくという取り組みです。県東部の1市4町が一緒になり、官民挙げて推進しています。これは、今後のこの地域の発展に大きな弾みをつけるものだと考えています。

司会 道路がつながるといふことは、メリットが大きいんですね。

藤田局長 中国地方全体としては製造業が非常に活発ですが、その多くは実は瀬戸内海側に立地しているんですね。残念ながら、山陰側は必ずしも元気でないという状況です。道路整備が進めば、他の地域と競争し得る条件が整うということにな

ると思います。

また、中国地方整備局では、殿ダムの整備も進めています。このダムは工業用水の供給も予定していますので、そういう面でも企業の立地がスムーズに進む条件が整うのではないかと思います。

司会 地域の発展には道路の整備が欠かせないと思いますが。

藤田局長 鳥取県の高規格幹線道路の整備率は、全国で一番悪いんです。「県庁所在都市に高速道路がない。これではよその県と競争しろというのはムリだ」というお話は、かねてから竹内市長に伺っております。ようやく今、鳥取県内の道路整備に全力を挙げて取り組む環境が整い、一所懸命取り組んでいるところなんです。鳥取自動車道は今、工事の最盛期です。志戸坂峠道路については、今年度末の3月には開通にこぎつきたいと思っています。また、市内（吉成）の国道の立体交差化も一所懸命取り組んでいるところです。

道路特定財源について

司会 現在国会で「道路特定財源」の暫定税率について議論が

行われていますが、この暫定税率が確保されない場合、鳥取市はどのような影響を受けるのでしょうか。

竹内市長 道路特定財源については、高速道路から生活道路まで、あらゆる種類の道路の整備や維持補修のための大事な財源になっていきます。これを確保して計画的に道路整備を進めてい



岡崎のりこ 会長の岡崎 典子さん



たけうち いさお
竹内 功 鳥取市長

くことが非常に重要だと考えています。本市の平成19年度の道路予算（約18・2億円）を見てもみますと、約7・4億円が道路特定財源のうちで暫定税率部分ということになりますので、これがあるとないとでは大違いです。また、県全体でも道路特定財源の暫定税率部分は約266億円と計算をされています。これは高速道路や国道、県道、市町村道の整備財源の大きな部分を占めるわけです。この財源が確保されることで、住民のみなさんの多くのご要望にこれまでもどおり応えられると思います。そういう意味では、暫定税率を含めた道路特定財源の確保は本市として重要な課題です。

竹内市長 側溝や歩道の整備など、子どもたちを含めた多くのみなさんの安全に関わる道路整備も必要です。また、冬の時期には除雪も行いますが、ここにも道路財源が直接使われています。**藤田局長** 暫定税率で上乘せされている財源は、全国で2兆6千億円、そのうちの1兆6千億円は地方自治体向けの財源です。

道路整備は切実な願い

司会 今日は道路についていろいろとお話しいただきました。最後に特に訴えたいことをどうぞ。

竹内市長 日本の道路整備は、道路特定財源制度によって格段に進んできましたが、残念ながら本県では、まだその整備が終

わっていません。

山陰道が整備されて、鳥取市と米子市を1時間で結ぶというのは、これはもう多くの県民の願いなんですね。また、中国縦貫道までの高速道路が早くついでほしい、大阪まで2時間半で行けるようになってほしいというところも、長年の悲願です。

道路財源が確保され、こうした事業が1日も早く計画通りに実現することを待ち望んでいます。地域経済の発展のためにも、日々の生活のためにも、必要な生活基盤である道路の早期整備を強くお願いします。

藤田局長 鳥取自動車道の整備をはじめ、中国地方全体で高速交通体系を整備して、地域全体が発展していくようにがんばっていきたいと思います。

司会 今日はお二人に、「鳥取の道路と未来」についてお話しいただきました。鳥取自動車道が開通することによって、鳥取市が明るくにぎやかな、そして子どもたちの元気な声がこだまするまちになればいいな、と感じました。今日はありがとうございました。



問い合わせ先
市役所本庁舎都市政策課
(0857) 20-3253

道路特定財源制度とは

揮発油（ガソリン税）や軽油引取税、自動車重量税、自動車取得税など、自動車利用者が利用に応じて道路整備の費用を負担する制度です。

道路整備を推進するため、現在本来の税率に対して「暫定税率」が上乘せされています。

ガソリン1ℓあたりの揮発油税48.6円のうち、約25円が暫定税率分です。